

特別企画：2018年度 北海道内スーパーストア売上高ランキング**コープさっぽろが首位を堅持**

～上位50社の売上高合計は1兆1912億5800万円、前年度比0.1%増～
はじめに

道内のスーパーストア業界は、消費人口の伸び悩みが続くなかで、顧客獲得競争は一段と厳しさを増している。この間、大手業者は合併も含めた経営統合や再編を進めることでスケールメリットを追求するほか、商品ライン、アイテムの充実に加えて在庫統制の徹底や、新規出店や同業者からの店舗の承継、リニューアルなどにより営業基盤の維持・拡大を図っている。大手による系列化や寡占化が進む一方で、中小・零細規模のスーパー経営業者を取り巻く経営環境は厳しさが続いている。

帝国データバンク札幌支店は、企業概要ファイル「COSMOS2」（登録社数147万社）を対象に、2018年度（2018年4月期～2019年3月期）に決算を迎えた道内企業（約7万社）から、スーパーストア経営業者を抽出、売上高ランキング（不動産賃貸収入等を含む）を作成した。なお、売上高は推定値を含む。

～調査対象～

1. 原則として生鮮3品を扱い、セルフサービス方式を採用する法人
2. 北海道内に本社を置きスーパーストアを展開する法人
3. 北海道内に本社を置き店舗展開する生活協同組合（大学生協を除く）
4. 売上高は不動産賃貸収入等を含み、店舗数は上記の対象店舗とする

調査結果（要旨）

1. 2018年度のランキング第1位は、売上高2945億5900万円の（生協）コープさっぽろ。2位はイオン北海道（株）。3位のマックスバリュ北海道（株）は前年度から売上高が2.6%増加し、順位を一つあげた。一部ランキングに変動があったものの、上位10位までの顔ぶれは前年度と変わりなかった。
2. グループ別売上高では、イオングループが店舗数164、売上高合計3335億1300万円で4年連続して第1位に。第2位は（生協）コープさっぽろ及び業務提携する（有）魚長のグループ。第3位はアークスグループ。
3. 上位50社の売上高合計は前年度比0.1%増の1兆1912億5800万円。上位10社の売上高合計は1兆352億3100万円で前年度比0.2%増。上位50社の増収企業（横ばい含む）は22社、減収企業は28社。

1. 売上高ランキング ～ 第1位はコープさっぽろ、2位はイオン北海道

ランキング第1位は**(生協)コープさっぽろ**で、売上高は2945億5900万円(前期比0.6%増)を計上、ランキング対象とした2007年度から12年連続で首位となった。第2位は売上高2042億3300万円の**イオン北海道(株)**。同社は、2015年9月に(株)ダイエーの北海道地区の総合スーパー9店舗を承継している。3位の**マックスバリュ北海道(株)**は、前期比2.6%増の売上高1292億8000万円を計上し、前年度の4位から順位を一つ上げた。2015年9月に(株)ダイエーの北海道地区の食品スーパー7店舗、10月に(株)いちまるのスーパーストア14店舗を承継している。4位はアークスグループの中核、**(株)ラルズ**で売上高1286億円。

(株)ホクレン商事は前期比1.2%減の644億2200万円の売上高で5位にランキングされた。

一部ランキングに変動があったものの、1位から10位までの顔ぶれは前年度と変わりなかった。

2018年度 北海道内スーパーストア売上高ランキング

(金額単位:百万円)

順位	前年 順位	法人名	所在地	店舗名	店舗数 (決算時)	決算期 (月)	2018年度 売上高	2017年度 売上高	伸び率 (%)
1	1	(生協)コープさっぽろ	札幌市	コープさっぽろ	108	3	294,559	292,878	0.6
2	2	イオン北海道(株)	札幌市	イオンほか	77	2	204,233	205,299	▲ 0.5
3	4	マックスバリュ北海道(株)	札幌市	マックスバリュほか	87	2	129,280	125,950	2.6
4	3	(株)ラルズ	札幌市	スーパーアークスほか	73	2	128,600	127,973	0.5
5	5	(株)ホクレン商事	札幌市	ホクレンショップ ほか	63	3	64,422	65,187	▲ 1.2
6	6	(株)東光ストア	札幌市	東光ストア ほか	28	2	44,930	45,465	▲ 1.2
7	7	(株)道北アークス	旭川市	スーパーチェーンふじ ほか	43	2	43,322	44,732	▲ 3.2
8	8	(株)福原	帯広市	フクハラ ほか	42	2	42,717	43,211	▲ 1.1
9	9	北雄ラッキー(株)	札幌市	ラッキーほか	34	2	42,290	42,907	▲ 1.4
10	10	(株)ダイイチ	帯広市	ダイイチ	23	9	40,878	39,590	3.3
11	11	(株)道南ラルズ	北斗市	ラルズマート ほか	17	2	24,317	24,315	0.0
12	12	(株)道東アークス	北見市	ラルズマート ほか	14	2	20,155	20,232	▲ 0.4
13	13	(株)北海道ジェイ・アール・フレッシュネス・リテール	札幌市	JR生鮮市場	9	3	17,620	18,042	▲ 2.3
14	14	(株)豊月	苫小牧市	フードD	13	1	15,884	15,609	1.8
15	15	(有)魚長	函館市	生鮮夢市場 ほか	19	2	11,243	11,688	▲ 3.8
16	16	(株)津司	札幌市	卸売スーパー	8	4	11,000	11,000	0.0
17	17	(株)東武	中標津町	東武サウスヒルズ ほか	2	1	5,700	5,800	▲ 1.7
18	18	(株)ダイゼン	鷹栖町	DZマート	16	9	5,166	4,634	11.5
19	19	(株)モリワキ	札幌市	北海市場	5	12	4,342	4,213	3.1
20	20	(株)ハピオ	音更町	ハピオ	1	3	3,790	3,789	0.0

※1 イオン北海道(株)は2015年9月より(株)ダイエーの北海道地区の総合スーパー9店舗を承継

※2 マックスバリュ北海道(株)は2015年9月より(株)ダイエーの北海道地区の食品スーパー7店舗を承継

また同年10月1日付で(株)いちまるよりスーパーストア14店舗を承継

※3 (株)ダイイチは2016年10月1日付で(株)オーケー(音更町)を吸収合併

※4 (株)道東ラルズは2016年3月に(株)篠原商店を合併、(株)道東ラルズは(株)道東アークスに商号を変更。

2. グループ別売上高 ～イオングループが3335億1300万円で4年連続してトップに

グループ別売上高では、イオン北海道（株）とマックスバリュ北海道（株）のイオングループの2社が、店舗数164、売上高合計は前期比0.7%増の3335億1300万円で4年連続してトップとなった。イオン北海道（株）とマックスバリュ北海道（株）は2019年4月にイオン北海道（株）を吸収合併存続会社、マックスバリュ北海道（株）を吸収合併消滅会社とする吸収合併契約を締結したと発表しており、2020年3月1日を効力発生日としている。

（生協）コープさっぽろ及び業務提携先の（有）魚長（函館市）のグループは、店舗数127、売上高合計は同0.4%増の3058億200万円で第2位となった。

アークスグループ（道内本社6社）は店舗数217、売上高合計は前期比0.6%減の3040億4100万円で第3位となった。

2018年度（2018年4月～2019年3月）大手3強の売上高

●イオングループ売上高

（単位：百万円）

企業名	店舗数	2017年度	2018年度	伸び率 (%)
イオン北海道(株)※1	77	205,299	204,233	▲ 0.5
マックスバリュ北海道(株)※2	87	125,950	129,280	2.6
合 計	164	331,249	333,513	0.7

※1 イオン北海道（株）は2015年9月より（株）ダイエーの北海道地区の総合スーパー9店舗を承継

※2 マックスバリュ北海道（株）は2015年9月より（株）ダイエーの食品スーパー7店舗を承継。

また同年10月より（株）いちまるのスーパーストア14店舗を承継

●（生協）コープさっぽろ及び業務提携先売上高

（単位：百万円）

企業名	店舗数	2017年度	2018年度	伸び率 (%)
（生協）コープさっぽろ	108	292,878	294,559	0.6
（有）魚長	19	11,688	11,243	▲ 3.8
合 計	127	304,566	305,802	0.4

●アークスグループ売上高

（単位：百万円）

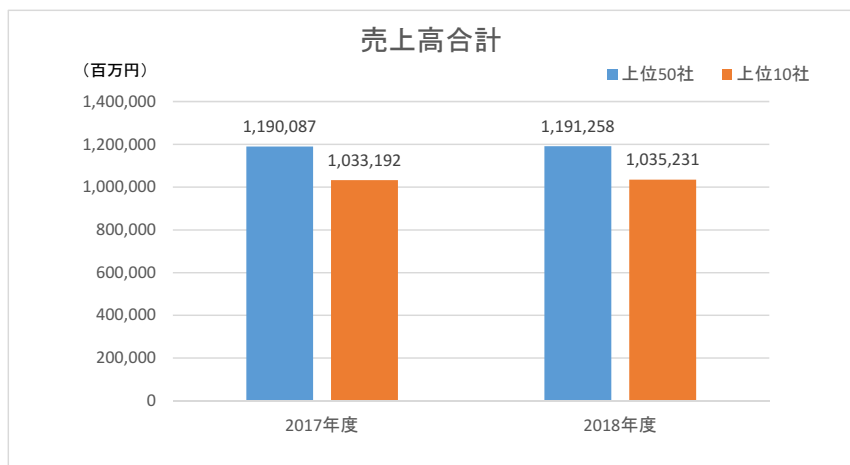
企業名	店舗数	2017年度	2018年度	伸び率 (%)
(株)ラルズ	73	127,973	128,600	0.5
(株)東光ストア	28	45,465	44,930	▲ 1.2
(株)福原	42	43,211	42,717	▲ 1.1
(株)道北アークス	43	44,732	43,322	▲ 3.2
(株)道南ラルズ	17	24,315	24,317	0.0
(株)道東アークス※1	14	20,232	20,155	▲ 0.4
合 計	217	305,928	304,041	▲ 0.6

※1: (株)道東ラルズは2016年3月に(株)篠原商店を合併、(株)道東ラルズは(株)道東アークスに商号を変更

3. 上位 50 社売上高合計 ～1 兆 1912 億 5800 万円で前年度比 0.1%増

売上高ランキング上位 50 社の売上高合計は、1 兆 1912 億 5800 万円で前年度比 0.1%増加した。

上位 10 社の売上高合計は、50 社合計の 86.9%を占める 1 兆 352 億 3100 万円で、2017 年度の上位 10 社の売上高合計 1 兆 331 億 9200 万円に比べ 0.2%増加。



上位 50 社に占める 10 社の売上高合計の構成比は 86.8%から 86.9%へと 0.1 ポイント上昇した。

売上高が前年度比増収（横ばい含む）の企業は 50 社中 22 社、減収企業は 28 社となり、減収企業の数が増えた。

4. トップ 10 企業の動向

スーパーストア売上高ランキング推移(2009年度～2018年度)

順位	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
1	(生協)コープさっぽろ	(生協)コープさっぽろ	(生協)コープさっぽろ	(生協)コープさっぽろ	(生協)コープさっぽろ	(生協)コープさっぽろ	(生協)コープさっぽろ	(生協)コープさっぽろ	(生協)コープさっぽろ	(生協)コープさっぽろ
2	イオン北海道(株)	イオン北海道(株)	イオン北海道(株)	イオン北海道(株)	イオン北海道(株)	イオン北海道(株)	イオン北海道(株)	イオン北海道(株)	イオン北海道(株)	イオン北海道(株)
3	(株)ラルズ	(株)ラルズ	(株)ラルズ	(株)ラルズ	(株)ラルズ	(株)ラルズ	(株)ラルズ	(株)ラルズ	(株)ラルズ	マックスバリュ北海道(株)
4	マックスバリュ北海道(株)	マックスバリュ北海道(株)	マックスバリュ北海道(株)	マックスバリュ北海道(株)	マックスバリュ北海道(株)	マックスバリュ北海道(株)	マックスバリュ北海道(株)	マックスバリュ北海道(株)	マックスバリュ北海道(株)	(株)ラルズ
5	(株)ホクレン商事	(株)ホクレン商事	(株)ホクレン商事	(株)ホクレン商事	(株)ホクレン商事	(株)ホクレン商事	(株)ホクレン商事	(株)ホクレン商事	(株)ホクレン商事	(株)ホクレン商事
6	(株)東光ストア	(株)福原	(株)東光ストア	(株)道北アークス	(株)道北アークス	(株)道北アークス	(株)東光ストア	(株)東光ストア	(株)東光ストア	(株)東光ストア
7	北雄ラッキー(株)	(株)東光ストア	(株)福原	(株)東光ストア	(株)東光ストア	(株)東光ストア	(株)道北アークス	(株)道北アークス	(株)道北アークス	(株)道北アークス
8	(株)福原	北雄ラッキー(株)	北雄ラッキー(株)	(株)福原	(株)福原	(株)福原	北雄ラッキー(株)	北雄ラッキー(株)	(株)福原	(株)福原
9	(株)ふじ	(株)ふじ	(株)ふじ	北雄ラッキー(株)	北雄ラッキー(株)	北雄ラッキー(株)	(株)福原	(株)福原	北雄ラッキー(株)	北雄ラッキー(株)
10	(株)ダイイチ	(株)ダイイチ	(株)ダイイチ	(株)ダイイチ	(株)ダイイチ	(株)ダイイチ	(株)ダイイチ	(株)ダイイチ	(株)ダイイチ	(株)ダイイチ

[注1] (生協)コープさっぽろは2007年度からランキング対象

[注2] (株)札幌東急ストアは2009年11月に(株)東光ストアへ商号変更

[注3] (株)ふじは2012年7月に(株)道北ラルズと合併し、(株)道北アークスへ商号変更

[注4] イオン北海道(株)は2015年9月より(株)ダイエーの北海道地区の総合スーパー9店舗を承継

[注5] マックスバリュ北海道(株)は2015年9月より(株)ダイエーの北海道地区の食品スーパー7店舗を承継

また同年10月1日付で(株)いちまるよりスーパーストア14店舗を承継

[注6] (株)ダイイチは2016年10月1日付で(株)オーケー(音更町)を吸収合併

（生協）コープさっぽろは、店舗事業では 2018 年 9 月に発生した「北海道胆振東部地震」により店休日や時短営業、商品不足を強いられ、9 月単月の売り上げは前年同月を大きく下回る結果となり、同事業の年売上高は前期比 1.4%減の 1889 億 3500 万円となった。宅配事業は札幌市白石区に大谷地センターを新設し供給力が増したこともあり、同部門は前期比 3.2%増となった。供給事業に共済・保険事業などを併せた総売上高は前期比 0.6%増の 2945 億 5900 万円を計上した。

イオン北海道（株）は、小型スーパー「まいばすけっと」の新規出店やインターネット販売事業が堅調に推移したほか、2018 年 3 月にリニューアルした「イオンモール札幌発寒」の専門店街において新規出店 20 店舗、移転 12 店舗、改装 39 店舗とリニューアル、施設面でも大規模な改修を実施し来店客数を増やした。しかし、「北海道胆振東部地震」の影響により食品以外の売り上げは減少したことから、売上高は前期比 0.5%減の 2042 億 3300 万円となった。

マックスバリュ北海道（株）は、2018 年 8 月に「マックスバリュ北 1 条東店」、11 月に「マックスバリュ月寒西店」をオープンしたほか、6 店舗の大型改装を実施した。商圈の特性やニーズに対応した品揃えを充実させたほか、各店でアプリに登録した顧客へのチラシを配布するサービスを開始、登録件数は増加し客数の増加に繋がった。売上高は前期比 2.6%増の 1292 億 8000 万円を計上した。

（株）ラルズは、鮮魚・青果・精肉など生鮮 3 品の動きが順調で、特に単身者向けのカット野菜、惣菜などデリカ商品の人気は根強く固定客を確保、アークスグループ全店で使える「アークス RARA カード」もポイント還元が魅力で固定客を確保した。2018 年 6 月からは（株）東光ストアと冷凍・冷蔵食品の共同配送をスタート。売上高は前期比 0.5%増の 1286 億円を計上した。

（株）ホクレン商事は、これまで同様に鮮度の高い商品を提供することで生鮮品において固定客を確保した。「北海道胆振東部地震」の影響で一部店舗では営業できない期間があったことからやや減収となり、売上高は前期比 1.2%減の 644 億 2200 万円となった。

（株）東光ストアは、期中に「円山店」「プロム山鼻店」「サッポロファクトリー店」を改装し、集客増を図った。割引セールやキャンペーンの実施のほか、多様な価格帯の商品構成により差別化を図った展開を行った。「北海道胆振東部地震」の影響から休業を余儀なくされたこともあり、売上高は前期比 1.2%減の 449 億 3000 万円となった。

(株) 道北アークスは、前期に開店した「Da*マルシェ沼田店」が通年稼動となった。また、2017 年 11 月に「ビッグハウス東光店」を「スーパーアークス東光」として建替増床し、増収を見込んだものの、人口減少や少子高齢化のほか、「北海道胆振東部地震」の影響により商品供給が不安定となったことなどから、売上高は前期比 3.2%減の 433 億 2200 万円となった。

(株) 福原は、各店舗の特色を打ち出した品揃えを進めたほか、商品棚のレイアウト等を変更することで集客維持に努めた。近隣スーパーストアとの競合が激しいなか、店舗リニューアルや「北海道胆振東部地震」による臨時休業などの影響で営業日数が減少したため、売上高は前期比 1.1%減の 427 億 1700 万円となった。

北雄ラッキー (株)は、期中に「ラッキー岩内店」「ラッキー菊水元町店」を改装した。マーケティング力を強化し、ID-POS 活用による顧客が求める商品・情報の提供に注力するほか、電子マネー機能付きポイントカード利用者を対象とした販促にも取り組んだが、北海道胆振東部地震による休業や時短営業、商品不足などもあり、売上高は前期比 1.4%減の 422 億 9000 万円となった。

(株) ダイイチは、期中に「豊岡店」を新規オープンしたほか、「白樺店」をリニューアル、「東光店」を移転増床したことで来店客数が伸びた。また、創業 60 周年セールをロングランで実施したことに加え、筆頭株主である (株) イトーヨーカ堂との間で共同販促や商品政策を中心に業務の連携強化を進めたことから、売上高は前期比 3.3%増の 408 億 7800 万円を計上した。

【内容に関する問い合わせ先】

株式会社帝国データバンク 札幌支店 担当:香川、柳澤、篠塚
TEL 011-272-3933 FAX 011-272-3934

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。報道目的以外の利用につきましては、著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。